

こおりやま広域圏の市民活動を応援する広報誌

あしすとはあく

第76号

2023年9月1日発行

発行：郡山市市民活動サポートセンター
(愛称：アシストパーク郡山)

特集

多様な市民活動・ NPO活動が地域を 豊かにしています!

こおりやま広域圏では、高校生、市民のグループ、地域おこし協力隊卒隊者、農家、福祉関係者などが、きらりと光る市民活動を行っています♪

小野町

高校生レストラン
福島県立小野高等学校

写真提供：福島県立小野高等学校

玉川村

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

アートを楽しむ交流拠点

アートコミュニティスペース ZASSOU

写真提供：アートコミュニティスペースZASSOU

石川町

さくらフィルハーモニー楽団

さくら並木の会

写真提供：さくら並木の会

郡山市

農福連携で地域の食卓へ

あさかのCSA

写真提供：あさかのCSA

取材先を募集!

(自薦・他薦は問いません)



こおりやま広域圏内で活動している市民活動団体取材させて下さい!
詳しくは、QRコードからウェブをチェック!

特集

多様な市民活動・NPO活動が地域を豊かにしています！

こおりやま広域圏内で多様な市民活動・NPO活動を担っている皆さんに、活動のきっかけや楽しみ、地域の皆さんとの交流や今後の取り組み、夢などをお聞きました。

公立学校 福島県立小野高等学校 家庭クラブ



小野町

小野高等学校 家庭クラブの皆さん

会田 剛さん

今泉 海沙さん

石塚 陽さん

阿久澤先生

佐藤 優妃さん

宗像 里奈さん

石郷岡 周さん

阿久澤先生

小野高校家庭クラブでは、各クラスから委員会形式で生徒が集い、地域の魅力度アップをテーマに、みそなどの地域の食材を活用したオリジナルメニューの開発に取り組んでいます。その結果、絶品「まいもん甲子園全国大会」で過去3度の準優勝を獲得しました。

こうした活動の成果を地域の皆さんに知ってもらうために、「小野高校うまいもんレシピ集」を町の全戸に配布したところ、実際に食べる機会が欲しいという市民のみなさんの声が届きました。

2022年9月3日に第1回となる高校生レストランを開催し、用意した120食が完売しました。今年6月11日の第2回は、発酵をテーマに160食を提供することができました。生徒たちにとって地域とつながる貴重な機会となり、今後も継続していきたいと思えます。

会田剛さん

去年の反省を踏まえ役割分担や材料の準備などすべての面でうまくできました。

佐藤優妃さん

年配の方にも楽しんでいただけるよう柔らかさを考えてメニュー開発をしました。

宗像里奈さん

今年度は若い人にも受け入れられやすいメニューに取り組みおいしくできました。

今泉海沙さん

チーズとみその分量の調節が難しかったがうまくできました。

石塚陽さん

ピザ班として前日の生地の手込みから本番までを通して、前回よりうまくできたことで達成感を感じました。

石郷岡周さん

配膳係を担当、立ちっぱなしで大変でしたが、無事終わった満足感がありました。



教諭 阿久澤 みく先生



写真提供：福島県立小野高等学校



発酵をテーマに開発したメニュー（みそを使用したピザ・チーズケーキ、他）

写真提供：福島県立小野高等学校

公式ウェブ



任意団体 さくら並木の会 (さくらフィルハーモニー楽団)



石川町

代表 小林 麻里さん

副代表 佐々木 いづみさん

メンバー 永井 幸恵さん

小林さん 周囲から理解されにくい発達障がいのお子さんを育てるお母さんをサポートしたいと思い、2021年3月に会を創設し、交流会を開催することから活動をはじめました。11月には小学生向けの冊子「君だけのオリジナル発達障がいのおはなし」を制作し、福島県内の小学校の7割にあたる271校に無償配布しました。

配布活動が終了したことから発達障がいを持つ子どもたちと交流したいと考えました。音楽を通して表現することの素晴らしさを感じてもらいたいと「さくらフィルハーモニー楽団」の名称で今年の春から、子どもたち3名、高校生ボランティア4名、大人のスタッフ4名の合わせて11名ではじめました。

大切にしていることは、強制せずに、子どもたちの気持ちを大事にしながら

活動することです。失敗しても叱られない場所、むしろ失敗しても良い場所をつくるのが目標ですね。

佐々木さん 私はSNSで小林さんとつながり、宮城県から通っています。子どもたちを見守りながら楽しんでいきます。

永井さん 私は、お笑い担当として子どもたちの笑顔に触れるこの活動で幸せを感じています。大好きな趣味のギターと音楽が役立つなら嬉しいですね。

小林さん 急がずに1〜2年ほど曲を練習し、保護者の方に向けたコンサートを開きたいです。更に、お年寄りの福祉施設でもコンサートが開催できれば最高ですね。

君だけのオリジナル
発達障がいのおはなし



小学生向け小冊子
君だけのオリジナル 発達障がいのおはなし

公式ウェブ



写真提供：さくら並木の会

任意団体 **あさかの CSA**



郡山市

あさかの CSA 事務局 A 熊田芳江さん



写真提供：あさかの CSA

写真提供：あさかの CSA

公式ウェブ



special issue



熊田さん あさかの CSA は、2020年の5月から活動をはじめました。CSAとは、「地域が支える農業」のことで、生産者と消費者会員で成り立っています。農産物の購入を希望する消費者が会員となつて、これからつくる農産物を前払いで購入し、生産者が消費者会員に定期的に野菜などを届ける仕組みです。消費者会員が生産者を支えます。あさかの CSA の特徴としては、農薬や化学肥料を使用しない有機農業に特化し、生産者農家と福祉事業所が連携して農産物を生産して、消費者会員にお届けしています。私たちがあさかの CSA の安田潤一会長をはじめとした生産者、連携する福祉事業所ともに、食卓においての幸せを届けることを目指しています。また、有機農業を知ってもらうために、毎月、農業体験や調理教室、マルシェなども開催していますので、是非、ご参加いただきたいと思います。

購入はウェブサイトから、1回分2100円で約8〜10種類の野菜セットを郡山市内へ月2回お届けします。お届け方法は、ご自宅近くのステーションでの受取りの他に宅配便でのお届けも出来ます。現在は、郡山市内で5か所の受取りステーションがありますが、新規ステーション開設の会員も募集しています。あさかの CSA の活動は、単なる消費と生産の窓口ではなく、豊かな自然と有機農業を通じた農福連携のコミュニティ活動です。今後も、地域の皆さんへ私たちの想いを込めた新鮮な野菜を通じて、あさかの CSA への共感の輪を広げ、少しずつ実績を作つて参ります。special issue ページに、あさかの CSA の仕組みや農産物の紹介を掲載していますのでご覧ください。

鈴木さん 7月に玉川村地域おこし協力隊を卒業し「アートコミュニティスペース ZASSOU(ざっそう)」を正式にオープンさせました。地域おこし協力隊で活動していたころから、子どもたちが自由にやりたいことができる場所があったらいいと考えていました。昨年の7月から、築50年になる空き家をリフォームし拠点づくりの準備を進めてきました。日大工学部建築学科の学生さん、地域の皆さんや協力隊の仲間たちのおかげで、今年の2月に完成しました。地域おこし協力隊の時から子ども向けのアートワークショップを開催してきました。春からは、この場所で開催して子どもたちが手や足に絵の具を付けて窓ガラスや襖・窓・床などに絵を描く

が、普段はできないことを楽しんでくれていたことで手ごたえを感じています。私は、高校卒業後に就職して関東で2年暮らしました。その当分の私の頭にあったのは、子どもの時に祖母に連れられ、この玉川村で山菜取りをした楽しい思い出の数々でした。私の生まれ育った大好きな玉川村に戻ろうと考え、地域おこし協力隊に応募しました。今後は、未就園児童や小学生に向けたアート教室を更に活性化させることを目指していきます。周辺の市町村で活躍する地域おこし協力隊の方々と一緒に多彩なワークショップを開催し、地域を越えて気軽に遊びに来ていただけたら嬉しいです。

個人事業 **アートコミュニティスペース ZASSOU**



主宰 鈴木愛子さん



写真提供：アートコミュニティスペース ZASSOU

写真提供：アートコミュニティスペース ZASSOU

公式ウェブ



相談無料/予約制

●多文化共生社会の実現

専門相談会

●SDGs の推進

●クラウドファンディング活用



相談テーマ：多文化共生社会の実現

専門相談員

三田真理子

9/26 水

10/31 火

11/28 火

①13:30-14:15 ②14:30-15:15 ③15:30-16:15



相談テーマ：SDGs の推進

専門相談員

鷺谷 恭子

9/20 水

10/25 水

11/29 水

①13:30-14:15 ②14:30-15:15 ③15:30-16:15



相談テーマ：クラウドファンディングの活用

専門相談員

中瀧 亮兵

9/28 木

10/26 木

11/30 木

①13:30-14:15 ②14:30-15:15 ③15:30-16:15



三田真理子の 多文化共生社会

ワンポイントレッスン



世界の人口は増加し続け、80億人を超えました。一方、日本は少子・高齢化により労働人口減少が進んでいます。人手不足を外国人労働者が補い私たちの暮らしを支えています。福島県で暮らす外国籍住民で一番多いのはどの国だと思いますか？令和元年までは中国、現在はベトナムです。技能実習生として日本で働いている外国籍住民は若者が多く、消防団として活躍している地域もあるようです。

町内会を応援



町内会の皆さんへ

会計に関する相談を無料で受付しています。無料で使用できる会計ソフト(Excel)を紹介します。

実施日：毎週 月・火・水 (13:00-17:15)

申込み：事前予約制 (※予約必須)

問 郡山市市民活動サポートセンターへお問合せください♪

NPO 法人の Q&A

Q NPO法人になった場合、どんな義務が発生しますか？

A

- ① 社会から信頼されるように運営する必要があります。そのためにも、運営や活動に関する情報公開をきちっとしなければなりません。
※ホームページの制作についても、相談を受け付けています。
- ② 法人設立、理事長や定款の変更について法務局で登記をする必要があります。
- ③ 事業報告書や役員変更などの諸届出を、所轄庁（郡山市の場合は、市民・NPO活動推進課）へ提出する必要があります。

NPO 法人の運営が良くわかる「市民活動の“まるわかり”ミニ講座」を利用ください♪



発行 郡山市市民活動サポートセンター
(愛称：アシストパーク郡山)

開館時間 8:30-17:15 休館日 土、日、祝日、年末年始

電話/FAX 024-924-3352

メールアドレス ap@utsukushima-npo.jp

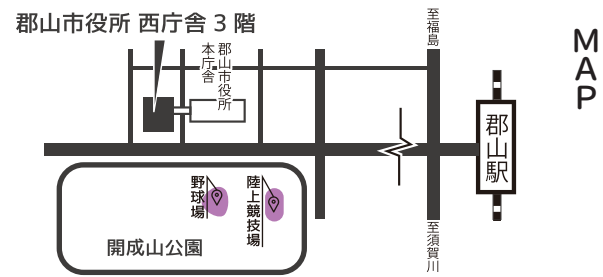
ウェブサイト <https://assistparkkoriyama.net/>

住所 〒963-8601

福島県郡山市朝日一丁目 23 番 7 号
郡山市役所 西庁舎 3 階

運営委託 郡山市市民部市民・NPO 活動推進課

運営受託 NPO 法人うつくしまNPOネットワーク



Web



Twitter



Facebook

